

ここが聞きたい

ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

立石 武博議員

農業・農村をめぐる情勢と再生の課題について

立石議員

本村の農業において、次世代の担い手をどう確保するのか、生業の維持・再生は死活問題である。その実態の現状、農家戸数、農地の面積、算出額の経年変化はどうなっているか。

担い手の確保・育成を推進する

村長

本村の基幹産業の一つである農業は、米を基幹作物としながら、野菜は花き、果樹、雑穀類など耕種農業、肉用牛などの畜産といった多種多様な農業生産が行われている。

産業構造の転換や農産物の価格低迷、後継者不足による耕作放棄地の増大が深刻な問題にあり、統計によると平成22年から平成27年にかけては173戸、約17%の減少がみられ、それに伴い経営耕地面積も1,690haから1,410haと約16%の減少となっている。地域農業を次世代で継承するために、近年は地域農事組合法人が設立され、農地の集積化や農機具の共同利用などが進められ、着実にその成果は伸びている。県と連携を図り、これらの法人がパイオニア的存在となるよう取り組んでいく。

担い手の確保、育成を図り、地域農業を守っていくために引き続き農業政策に本腰を入れて取り組んでいく。

学校給食、完全無償化実施を

立石議員

本村では学校給食の半額助成を実施している。子育て世代が住みたい村、住み続けたい村と思うのであれば、他の自治体に先んじて完全無償化すべきではないか。村の発展にも繋がると思うが、その見解は。



6割を超える助成を行っている

村長

学校給食法において、学校設置者と保護者の経費分担は定められており、食材費は保護者が負担するとされている。本村では、平成27年度から保護者の経済的負担軽減と子育て支援の観点から半額助成を行っている。さらに、給食で提供される米は村の予算で全量購入している。約6割を超える助成になる。

また、生活困窮家庭の児童生徒には、就学援助制度により給食費は全額補償しており、その対象児童生徒は全体の約2割となっている。

引き続き、子育て世代が住み続けたいと思えるような村づくり、支援策に取り組んでいく。

その他の質問

・国保税引き上げ反対